

令和５年度 第２回長野県長野高等学校学校評議員懇談会 記録

１．日 時 令和６年 ２月 １５日（木） １５：３０～１７：００

２．会 場 長野県長野高等学校 大会議室

３．出席者

学校評議員５名（五十音順）

佐野 忠文 氏（上松区区长） 竜野 泰一 氏（エーシーエ設計(株)代表取締役）

中村 正行 氏（信州大学工学部教授） 藤井 純子 氏（東ロメンタルクリニック臨床心理士）

鷺澤 幸一 氏（炭平コーポレーション(株)代表取締役）

学校職員１３名 生徒代表３名

４．学校評議員懇談会

（１）開会（１５：２８～）

（２）学校長挨拶（１５：３０～）

・本日はご多忙の中、ご来校いただき感謝申し上げます。

最近の生徒の活動で、特に印象に残っていることとして、約半年間取り組んでいる２年生の探究活動の発表会が１２月にありました。

（３）自己紹介（高校職員、生徒代表のみ）

（４）学校より（１５：３５～）

① 全日制の状況について

（a）概況：（全日制教頭）

・資料の後半に生徒および卒業生の活躍の新聞記事の抜粋を掲載した。特に、本校野球部出身の宮沢太成さんが西武ライオンズに指名され、今後の活躍に期待が膨らんでいる。

生徒諸君もご覧の通り様々な分野で、全国規模で大活躍している。

・コロナの影響で、様々な行事等において、先輩から受け継ぐ部分が不足しているが、逆にゼロからのスタートで、生徒それぞれが自分の考えを述べ、十分に話し合い、創り上げていくという過程を経て、より大きな成長に繋がっていると感じている。

（b）進路指導係より：（進路指導係）

・本年度は１年生が新たにジェネリックスキルを測定するアセスメントテストを導入し、より効果的な進路指導を目指している。

・進路関連の研究会や講演会は、ほぼコロナ前の状況で実施できた。必要に応じてオンラインを活用した。１，２年生では、「夢ナビライブ」を活用して、学問に対する興味・関心の深化を図った。

・医師体験、看護師体験は対面で実施され、生徒のモチベーションアップに繋がった。

今後は、薬剤師体験も検討している。

- ・受験を経験した先輩のアドバイスをまとめた合格体験記「後輩へのアドバイス」は、受験を控えた後輩にとってはバイブルのように読まれており、すばらしい伝統である。

- ・共通テストの結果は良好で、直後の生徒は比較的強気であったが、担任との面談を繰り返す中で、冷静に志望校を選んでいる。推薦入試の割合は、微妙に増えつつあるが、あくまで一般入試で勝負するという生徒がほとんどで、生徒は冷静に判断している。

- ・現2年生から新課程の入試が始まるが、大学受験の状況は保護者が受験した頃の状況とかなり異なり、保護者の関わり方が大きくなっている。生徒が不安なく受験できるよう、現状にあったサポートが必要であると考えている。

(c) 生徒指導係より：(生徒指導係)

- ・本年度4月からの自転車による交通事故は12件あり、状況によっては重大な事故になったケースもある。引き続き、交通安全指導、ヘルメット着用指導を徹底したい。

- ・本年度の心の健康相談は、例年通り医師、SCの面談を月4回実施した。2回は県予算、2回は本校独自に実施したものである。

- ・保健室の利用状況は、昨年度に比べて減少している。理由としては、利用者が多かった昨年度3年生が卒業し、現1年生の利用者が少ないことによると考えられる。

今後も外部医療機関との連携やカウンセリング等を活用し、生徒のメンタル面のケアに注意を払いたい。

(d) 生徒会係より：(生徒会係)

- ・本年度の生徒会行事は、金鵒祭をはじめコロナ前の状況で実施され、生徒は活気、活力に満ちており、とても充実していた。

- ・11月に現2年生の新生徒会がスタートし、意欲的に取り組んでいる。

- ・12月末に富山高校の生徒会長、他役員3名が来校し、お互いの学校の生徒会の取り組みについて情報交換をした。

- ・1月の第2回生徒大会で、能登半島地震災害復興支援金の取り組みを実施した。

(e) N G P係より：(N G P係)

- ・N G P (ナショナル・グローバル・プロジェクト)は、文部科学省指定のS G H事業終了後、基本的な事業(課題研究と国際交流)を継続して行う探究活動である。

本年度より、毎週月曜日の6時限目に設定し、全職員が担当して1～3学年の学校全体で実施している。生徒7名、職員1名のチームで、ゼミ形式により互いに意見、アドバイスを繰り返す中で、課題解決、探究を深めていくというスタイルである。

- ・現3年生の選択者は16名で、12月に課題研究発表会を行った。その成果は、AO入試や推薦入試にも活用したい。

- ・本年度の2学年台湾研修はオンラインで実施したが、来年度はコロナ前に現地に

赴き実施する予定である。また、本年 3 月の 1 学年希望者による米国研修はコロナ前の内容で実施する予定である。

(f) 3 学年より：(3 学年担任)

- ・ 中学から本校に入学しての 2 年間、コロナの影響を大きく受けた年代の生徒である。本年度になってようやくコロナ前の状況で活動可能となり、様々な行事でそのエネルギーを完全燃焼させた。そのため、切り替えも早く、しっかり受験に集中している。

(g) 2 学年より：(2 学年担任)

- ・ 本年度は、海外研修以外の活動はコロナ前の内容で実施できた。
- ・ 研修旅行で広島平和記念公園を訪れたが、世界平和に関心を持つ生徒が多く、アンケート調査を行っていた。

(h) 1 学年より：(1 学年主任)

- ・ 11 月のキャンパスツアー等 様々な行事がコロナの影響を受けずに自由に実施できた。
- ・ 3 月に米国研修、来年度は台湾研修が計画されており、生徒は学習のみならず様々な活動に意欲的に取り組んでいる。

② 定時制の状況について：(定時制教務主任)

- ・ 現在の在籍生徒数は、24 名（1 年 11, 2 年 8, 3 年 4, 4 年 1）で、本年度の卒業生徒数は 5 名（3 年 4, 4 年 1）である。
- ・ 義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いため、職員間で生徒情報の共有に努め、外部機関との連携を活用し、個々の生徒の指導に生かしている。
- ・ 本年度の総合的な探究の時間（1・2 学年）「中庭菜園」という授業では、外部講師のご指導をいただき、テニスコート横に“Edible Wonder! Garden”という菜園を造成した。ブルーベリーとイチゴを植え、誰でも自由に食べられる菜園であることを外部にも発信した。
- ・ 高校再編計画案として、本校定時制は長野東スーパーフレックス校として統合される予定であるが、9 月に懇話会が立ち上がり、現在まで 4 回実施した。

③ 今年度の学校評価について：(全日制教頭)

- ・ 2 月中に資料等を送付しますので、全日制、定時制について年度末最終評価をお願いしたい。(各議員に依頼)

④ 非違行為防止について

- ・ 昨年度末の本校職員による非違行為について、その原因を考えてきたが、職員の危機管理意識の低下がもたらしたもので、それを引き起こす本校職員の余裕のない忙しさがあるよ

うに感じている。自身の家庭の状況やメンタルの状況を冷静に見つめる余裕がないのではないか。その対策として、来年度は試験を減らす等の対策を施し、職員の状況を冷静に分析しながら、信頼回復に努めたい。

⑤ 学校生活について（生徒より）

- ・新生徒会が発足し、前年度の活動を踏襲したもの他に、新たに能登半島地震災害支援金の募金活動と昼休みに昼寝を推奨するパワーナップ活動を実施した。

パワーナップ活動は、午後の授業へのパフォーマンスを向上させるための活動であるが、その効果については、今後検証しようと考えている。

- ・生徒会活動に参加して感じていることは、執行部の中も友人ができて、目標をもって高校生活を送ることができて、とても充実している。今後も勉強と様々な活動を両立させたい。

- ・生徒大会の運営に携わり、生徒会活動の大切さを実感している。勉強、班活動等もレベルの高い活動が体験できて、とても充実した生活を送っている。

（５）意見交換

○評議員・一般企業でも、非違行為については厳しく管理している。本校においても、あらゆる手段を用いて、是非、非違行為を防止してほしい。

- ・自転車事故は減ったというが、やはり危険である。交通安全の指導を徹底してほしい。

- ・ヘルメットの着用率はどのくらいか。

学校⇒・警察のデータでは、高校１年生で約 90%、全体で約 80%くらいである。

持っていてもかぶらない生徒もおり、本校については、近隣の学校の中では比較的着用率が高い。今後も、ヘルメットの着用を呼び掛けたい。

○評議員・パワーナップ活動の取り組みはとても良いと思う。一般企業でも取り入れているところもある。

学校⇒・先日、本校のパワーナップ活動の取り組みについて、信毎から取材に来た。

生徒⇒・来年度も続けるかわからない状況であるが、今後も取材予定である。

現在、活動に参加している生徒は少ないが、効果の検証を行いたい。

○評議員・毎年、お祭り、運動会等で大変お世話になっている。

先日の大雪の際は、生徒諸君が学校の周囲の雪かきをしてくれて、大変ありがたかった。

- ・非違行為防止のための働き方改革は重要である。一般企業も様々な努力をしている。是非、撲滅のため、あらゆる改革をしていただきたい。

○評議員・全校の生徒の生徒会への関心度はどうか。

生徒⇒・周囲の生徒の話しや生徒大会の時の雰囲気から、冷めている生徒も見られるのが現状である。少しずつでも生徒会活動に関心を持ってもらえる取り組みをしたい。

○評議員・課題研究の活動はとても良い。大学で行っている、興味・関心のある事柄を自ら研究し、そのために何をどのように勉強するかを学ぶ、素晴らしい取り組みである。

・保健室の利用について、昨年度は3年生の利用者が多かったが、本年度は減少している。高校生という年代は、同年代の仲間との関りがとても大切な年代である。昨年度までは、コロナの影響でうまくいかなかった関りが、本年度から良くなったということか。このまま良い方向に進んでほしい。

・非違行為防止のため、先生方にも是非、パワーナップ活動に取り組んでほしい。

○評議員・パワーナップ活動の取り組みについて、効果の検証としてアンケート調査を実施するつもりか。

生徒⇒・活動に参加している生徒が少ないので、参加している生徒に意見を聞こうと思っている。

○評議員・グーグルのアプリを利用して、アンケート調査してはどうか。パソコンの勉強にもなるし、多くの生徒の意見を聞くことも大切である。

○評議員・課題研究のゼミ形式のグループワークとはどのようなことをしているのか。また、どのように評価しているのか。

学校⇒・個々の生徒がそれぞれのテーマで探究活動をしているが、グループワークでは、の一人が成果を発表し、それに対して周りの生徒および担当職員が様々な視点から意見、アドバイスを言いブラッシュアップし、さらに探究を深めていくという活動である。評価については、数値化するのが極めて難しく、より良い評価法を模索中である。

○評議員・大学で行っているゼミと同じイメージですね。

・グループワークでは、生徒の一人が毎回、議事録をとり、それを積み重ねることで、生徒の成長の過程が見えてくる。そのような評価法も考えられる。

・アセスメントテストとは、どのようなものか。

学校⇒・学力測定の他に、新たな問題を解決する力、周囲の人と協働して取り組む力などの行動特性を数値化したもので、担任が個々の生徒理解に生かすとともに生徒にフィードバックして、生徒の成長を促すために活用している。

○評議員・「夢ナビライブ」は、大学でもかなり力を入れている。様々な有益な情報が得られるので、是非、大いに活用してほしい。

○評議員・進路の報告に「理系女子枠」の新設とあるが、本校では利用する生徒はどのくらいいるのか。

学校⇒・本校については、この枠を利用して受験する生徒はほぼいない。

○評議員・「後輩へのアドバイス」とは、どのようなものか。

学校⇒・受験を経験した現３年生の後輩に向けた合格体験記で、後輩にとって有益な情報が書かれている。この体験記を書くことを楽しみにしている生徒もいる。

○評議員・後輩にとってはとてもありがたい、素晴らしい取り組みであると思う。

(6) 校長より御礼の言葉

・伝統を大事にしながら、前例にとらわれず、新たな学校づくりに邁進したい。

本日は貴重なご意見をありがとうございました。

(7) 閉会 (17:00)